

第1回 技術開発フォーラム

—マイクロリアクターの応用事例と今後の展開—

主催 日本化学会産学交流委員会 R&D 分科会

会期 平成20年11月14日(金) 13時30分～17時30分

会場 化学会館会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

[交通] JR 御茶ノ水駅、千代田線 新御茶ノ水駅徒歩5分

募集人員 50名

内容 マイクロリアクター技術は、反応温度や反応時間の精密制御、化学反応プロセスの全自動化や高効率化などの観点から研究が盛んな分野です。マイクロリアクターの多くは多数個並列作動できるため、スケールアップに伴う検討が必要なく、ナンバリングアップによって生産量が調整でき、少量多品種合成から大量合成まで幅広く対応できる点が魅力です。さらに、小型・可搬の装置として、燃料電池など高付加価値化学デバイスへの適用でも注目を集めています。

本フォーラムでは、マイクロリアクターの学術的意義やトピックスだけでなく、応用事例を含む技術開発の最前線に関連各社に紹介していただき、幅広い観点から本分野の現状と将来展望について議論することを目指します。

13:30-13:35 開会挨拶 (東京大学 准教授; R&D分科会 副主査) 火原 彰秀

13:35-14:15 講演 マイクロリアクター合成概論 (京都大学 教授) 吉田 潤一

14:15-14:35 発表 マイクロリアクター技術の反応・乳化・濃縮への適応
(日立製作所) 富樫 盛典

14:45-15:05 発表 マイクロ空間を用いたニトロ化合物の生成
(日油) 太田 俊彦

15:05-15:25 発表 メタノール改質型小型燃料電池 (カシオ計算機) 河村 義裕

15:35-16:05 講演 連続フロー型リアクターと今後の展望 (マイクロ化学技研) 江端 智彦

16:05-16:35 講演 マイクロ流体バイオ燃料電池 (東北大学 教授) 西澤 松彦

16:40-17:30 交流会

参加費 一般 10,000 円、日本化学会会員(同法人会員含む) 8,000 円。

R&D 懇話会会員 5,000 円 (R&D 懇話会法人会員含む。R&D 懇話会無料参加券の利用が可能です)。

参加申込方法 「11/14 技術開発フォーラム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・R&D 懇話会会員/日本化学会会員/一般の別を明記のうえ、申込先あて e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。なお、R&D 懇話会の会員を募集しております。詳細は下記へお問い合わせ下さい。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 担当: 松原・保倉
電話 03-3292-6163、FAX03-3292-6318、E-mail:matsubara@chemistry.or.jp